

令和7年度沖縄県立宜野湾高等学校学校評議員の運営状況について

1 日時、場所、出席状況等

| | | | | | | |
|-----|----|------------|----|---------------|----------|-------------------|
| 第1回 | 日時 | 令和7年7月22日 | 場所 | 宜野湾高校 小会議室 | 出席 状況 | 評議員4名中2名 職員10名 |
| 第2回 | 日時 | 令和7年12月24日 | 場所 | 宜野湾高校 小会議室 | 出席 状況 | 評議員4名中3名 職員10名 |
| 第3回 | 日時 | 令和8年3月17日 | 場所 | 宜野湾高校 小会議室 | 出席 状況 | 評議員4名 職員10名 |

2 学校評議員に求めた事項

県立宜野湾高校(全日制・通信制)の教育活動について、委員各々の立場から第三者として見ていただき、教育活動の改善に資するためのアドバイスを求めた。

3 学校評議員の意見

- ・調査等での成性AIの利用は良いが、内容をどれが良いかなど議論しまとめるのは生徒自身で行う力を付けてほしい。
- ・授業料無償化による業務量に変化はありますか。
- ・通信制課程の取り組みで入試に作文を付加したことはよい。
- ・18歳から選挙権があり最適な判断ができるような教育が必要。幅広い知識を身につけるための内面の教育は避けては通れない。
- ・メディアリテラシーの育成が必要である。
- ・宜野湾高校生が各地域のボランティアに来てくれて、各自治体から高評価を受けている。
- ・課題がある生徒については行政サービスと繋げてほしい。
- ・卒業生の功績を在校生に伝えてほしい。

4 学校運営に反映した事項

- ・日ごろの授業や総合的な探究の時間等で、考える力を育成するよう教職員にも働きかけている。
- ・授業料無償化では従来の就学支援金での対応ではなく、別の支援金制度を設けての対応が必要となったので仕事が増えることになったと感じる。
- ・生徒の知識面の伸張はもちろん、情緒面についても育成を促進することを確認した。
- ・情報の捉え方など、授業や活動を通して生徒に考えさせる機会を設けている。
- ・生徒向けにボランティアの案内を実施している。

5 課題その他

- ・私立も同様に授業料無償化になると、私立への入学希望者が増えることを懸念